

平成 27 年度警察政策研究センターの活動概要一覧

平成27(2015)年

- 4月～ 所長及び教授が東京大学公共政策大学院、一橋大学国際・公共政策大学院、中央大学法科大学院、同大学総合政策学部、首都大学東京都市教養学部及び法政大学法学部等で講義を実施したほか、本庁各部署職員講師派遣を斡旋するなど警察政策に関する研究の発展及び普及を図った。
- 慶應義塾大学大学院法学研究科（市民生活の自由と安全研究会）と共同研究を実施した。
- 5月 18日 （公財）公共政策調査会と共催でセミナー「反社会的勢力（総会屋・暴力団等）問題と企業の安全を考える」（講師：樹下尚（警察庁組織犯罪対策部長）、河野憲壯（日本弁護士連合会民事介入暴力対策委員会委員長））を開催（会場：グランドアーク半蔵門）。
- 5月 23～24日 所長及び教授が日本刑法学会第 93 回大会（会場：専修大学神田キャンパス）に出席。
- 6月 6～7日 所長及び教授が日本公共政策学会第 19 回研究大会（会場：京都府立大学）に出席。
- 6月 13日 教授が日本被害者学会第 26 回学術大会（会場：中央大学駿河台記念館）に出席。
- 7月～ 教授が昨年度に引き続き、国家公務員採用総合職試験（行政、政治・国際）の専門委員として試験問題の作成・検討に参加。
- 8月 8～12日 所長及び教授がタイ・パタヤで開催された国際警察幹部シンポジウムに出席し、所長が、我が国におけるストーカー対策の現状と対策について発表し、関係各国の研究者、実務家と意見交換を行った。
- 9月 2～5日 教授がポルトガル・ポルトで開催されたヨーロッパ犯罪学会に出席し、我が国におけるストーカー対策の現状と対策について発表し、関係各国の研究者、実務家と意見交換を行った。
- 9月 18日 警察政策フォーラム「変容する国際テロ情勢への対応～「伊勢志摩サミット」に向けて～」（基調講演：フランソワ・デュー（フランス・トゥールーズ第一社会科学大学教授）、斉藤実（警察庁長官官房審議官（警備局担当））。なお、当日は、宮沢忠孝・国際テロリズム対策課長が代理講演。）、板橋功（（公財）公共政策調査会研究センター長）、大林啓吾（千葉大学大学院専門法務研究科准教授））を開催（会場：グランドアーク半蔵門）。
- 10月 26～30日 教授が中国・杭州で開催されたアジア犯罪学会に出席し、我が国におけるストーカー対策の現状と対策について発表し、関係各国の研究者、実務家と意見交換を行った。

- 12 月 2 日 社会安全フォーラム「サイバー空間の安全の確保に向けて」（基調講演：キンモ・ウルクニエミ（IGCI 連携担当部門アシスタントディレクター）、ベノワ・ゴダート（Europol から IGCI へのリエゾン・オフィサー）、湯浅懇道（情報セキュリティ大学院大学教授））を開催（会場：グランドアーク半蔵門）。

平成28(2016)年

- 1 月 18 日 懸賞論文（共催：（公財）公共政策調査会）「自転車の安全・安心な利用をどう普及させるか」授賞式を実施（会場：グランドアーク半蔵門）。
- 3 月 16 日 警察政策フォーラム「青少年のスマホ利用のリスクと対策～進化するインターネット環境における青少年の保護対策を考える～」（基調講演：藤川大祐（千葉大学教育学部教授）、長谷部一泰（アルプスシステムインテグレーション株式会社セキュリティ事業部ビジネス推進部副部長）、中山秀紀（独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター精神科医長））を開催（会場：グランドアーク半蔵門）。